

2017年8月30日

**JICA 中国とボランティア連携に関する覚書を締結
ザンビア共和国に体育会柔道部員を派遣**

国立大学法人広島大学（学長：越智光夫）と独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）（所長：池田修一）は2017年8月30日、2015年に締結した「独立行政法人国際協力機構と国立大学法人広島大学との間の連携協定」に基づき、体育会柔道部の学生を JICA ボランティアとしてアフリカ南部のザンビア共和国に派遣する覚書を交わしました。

2017年度～2019年度に、毎年度1カ月程度の期間、体育会柔道部の学生を青年海外協力隊員としてザンビア共和国に派遣し、柔道の指導や普及に協力します。

アフリカでは近年、柔道人口が増加しており、ザンビア共和国も2012年、2016年のオリンピックに柔道選手が出場するなど、徐々に柔道が普及しつつありますが、依然として練習施設や指導者の不足が問題となっており、指導者層の能力強化も課題となっています。

広島大学体育会柔道部は、全日本学生柔道大会で複数回入賞するなどしており、今回派遣する学生ボランティアは、オリンピック・ユース・ディベロップメント・センターをはじめとするザンビア共和国内の柔道の主要拠点で、ナショナルチームの育成にも関わる指導者層への指導を行います。

広島大学は、これまでも JICA との連携協定に基づき、大学院国際協力研究科の学生をザンビア共和国に派遣する「ザンビアプログラム」など、同国に対し様々な協力を行ってきました。

柔道が普及しつつあるザンビア共和国に、同国と深いつながりを持つ広島大学から学生ボランティアを派遣することで、今後はスポーツの分野での協力関係も期待しています。

【お問い合わせ先】

大学院教育学研究科 教授 出口達也

Tel : 082-424-6849

E-mail : deguchi@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）